奥州市下水道事業経営戦略の決算状況の評価及び公表について
（令和７年度決算）

奥州市下水道事業経営戦略の管理指標（経営目標）により決算の状況を評価し公表します。

1　管理指標（経営目標）

(1) 経費回収率

使用料で回収すべき汚水処理費（維持管理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。安定的に経営するため100%以上であることが求められるが、使用者の急激な負担を考慮し、令和６年度の経営戦略改定時の水準である**85%の維持**を目標としている。

(2) 繰入金額

使用料だけで賄えない費用を税金などから補てんしている金額。**計画期間内（令和７年度から令和16年度）の合計金額を244.5億円以内**とすることを目標としている。

(3) 企業債残高

下水道管の布設や処理場の建設といった大規模な建設改良工事を行うための資金を、国や金融機関から借り入れた借金の残高。**計画期間の最終年度末の残高を183億円以内**とすることを目標としている。

2　目標達成状況

	区分	Ｒ６	Ｒ７	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ10
経費回収率	計画	－	82.8	78.2	88.2	86.4
（%）	実績	87.5	**86.7**			
繰入金額	計画	－	2,631	2,777	2,562	2,599
（百万円）	実績	2,457	**2,525**			
企業債残高	計画	－	30,135	29,380	28,355	27,076
（百万円）	実績	30,277	**29,552**			

【評価】

(1) 経費回収率

経営戦略で見込んだ収支計画と比較し、汚水処理費が減となったことにより目標を上回った。しかし、汚水処理費の減は、計画策定時点で決定していなかった流域下水道維持管理負担金の減や動向が不確定のため見込まなかった国の電気料金への補助による動力費の減等根本定な経営の改善に起因するものではなく、今後、安定的に下水道事業を継続するためには令和９年度の使用料改定は避けられない。

(2) 繰入金額

維持管理費の減に伴う減及び国庫補助金が希望よりも交付されなかったことによる建設改良事業の遅れによる資本費（減価償却費等）に対する繰入金の減により目標以内となった。

(3) 企業債残高

国庫補助金が希望よりも交付されなかったことにより補助事業を翌年度以降に延期したこと、事業を翌年度以降に繰り越したことによる企業債の新規借入れの減により目標の残高を下回った。